### 長野県埋蔵文化財センター

しょう せん じ





第7号 2025.7.18

# 暑い中での発掘調査が進んでいます!

4月から始まった発掘調査も3ヶ月がたちました。東海では梅雨も明け、飯田でも急激に気温が上昇しはじめました。熱中症に注意しながら調査を進めています。現在まで4区と8区の調査が終了し、7区の調査を行っています。たくさん昔の生活跡がみつかっていますので、各区の調査状況をお伝えします。



正泉寺遺跡 R7年度調査区

## 4区の調査のようす

4区では平安時代と思われる竪穴建物跡が5軒、土坑が25基みつかりました。6軒の竪穴建物跡は重なり合ってみつかりました。下の写真中央にその様子が確認できます。同じ場所で複数の世代にわたって生活を営んでいたのでしょうか。一方水色で示した範囲では、平安時代以降の氾濫によって地面が削られたり、土砂が堆積した様子や、後世のかく乱の様子がわかりました。



4区全体写真(北西より撮影)

### 7区の調査のようす

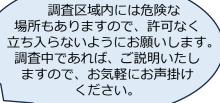


6月から開始し、 現在平安時代の竪穴 建物跡を約10軒を 調査中です。カマド 跡の残存状況がよい 建物跡や完形の土器 が出土した建物跡が みつかっています。



#### 竪穴建物跡(SB83)のカマド

北西の壁面の中央にカマドの跡が確認されました。カマド周辺からはカマドを構築する40cmほどの石や、ほぼ完全な形の土器が多く出土しました。





#### 竪穴建物跡 (SB84) 出土の土器

竪穴建物跡のコーナー付近の床面から、完全な形の耳皿や小形の皿がまとまって出土しました。遺物から11世紀の遺構と考えられます。正泉寺遺跡では初めての発見です。

長野県埋蔵文化財センター 飯田支所

〒395-0151 飯田市北方297-5

電 話:0265-49-0736

メール: maibun@naganobunka.or.jp

H P: <a href="https://naganomaibun.or.jp/">https://naganomaibun.or.jp/</a>

担 当:長谷川/丸山/藤原/髙橋

